

# 祝・万田坑 世界遺産登録決定



登録決定の瞬間、会場は喜びの渦に包まれました



祝いのくす玉割り。左から丸山教育長、小田市議会議員、山下市長



第1号の認定証を受け取った松藤ちずるさん（野原）



記念セレモニーでのテープカット



会場の2階まで来場者が詰めかけました



宇城市など他会場とインターネット中継を行いました。  
左から炭坑ガールズと荒尾市応援隊長・西村赤首さん

パブリックビューイング来場者 INTERVIEW



城司さん（海下）  
永尾大地君（庄名市）

登録の瞬間に孫と立ち会えてうれしいです。父が炭鉱の事務員だったので、感慨深いですね。万田坑の技術力の素晴らしさには驚かされます。炭鉱の良い面だけでなく、負の歴史も学んでいかなければと思います。



末宗ヨシュアさん  
エリヤ君（万田中）

息子が誘ってくれたおかげで、登録をお祝いできました。学校で万田坑をテーマにした組み体操を披露したことなどがきっかけで興味を持ったようです。若い人たちにも郷土の史跡に興味を持ってほしいですね。

7月5日夜、三池炭鉱万田坑や三池炭坑専用鉄道敷跡を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録されました。登録決定の瞬間、パブリックビューイング（公開中継）の会場・万田炭鉱館に駆けつけた250人ほどの来場者は、大興奮！ 祝福ムードに包まれました。

ドイツのボンで開催された国連教育科学文化機関（ユネスコ）世界遺産委員会で行われた審議は、当初、7月3日に行われるはずでしたが、歴史問題などで調整が難航したことで、審議結果が2日遅れることになりました。しかし、待たされた分、市民の喜びもひとしおです。会場は歓喜に沸きました。

7月6日、万田坑ステーション前で記念セレモニーを行いました。関係者によるテープカット後、万田坑がオープン。世界遺産になった万田坑への入場を証明する「認定証」を入場者へ配布しました。

荒尾市盛り上げ隊・炭坑ガールズや原えいじさんのミニコンサータもあり、会場に華を添えています。

私たちのまちの宝が  
ついに世界の宝に